

令和元年度 六浦地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化率は32%と区内でも高く、独居高齢者、高齢者のみ世帯も増加している。核家族化も進み、子育て世代は夫婦ともに就労しており、子どもを含め、高齢者、障害者等、地域に暮らすすべての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせるよう、地域福祉の拠点として、地域ケアプラザの「場」を生かしながら、地域特性や課題を町内会はじめ関係機関と連携し解決していく必要がある。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	六浦西地区福祉保健計画の重点項目の一つである認知症についての周知と町ぐるみで認知症の方、家族を支えあう風土を醸成するため、町内会単位での予防啓発講座に講師派遣や企画調整に協力する、エリアの小中学校の児童生徒に認知症サポーター養成講座を提供し、若いうちから意識付けを行い、積極的に関与していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症予防の一環である居場所、子育て中の方と赤ちゃんや障がい児・者の居場所づくりのモデル事業として地域ケアプラザ内で多世代交流カフェを展開。引き続きカフェを盛り立てる出演ボランティア、お茶の提供をするボランティアを養成し、各町会など地域でカフェの運営が活発に行えるよう支援していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ボランティア活動が活発な地域性を活かして、既存の団体の活動を支援し、担い手を増やすなど地域の生活支援を一層充実させる。生活支援体制整備事業の協議体「ささえ愛のつどい」においても、地域特性をとらえた情報収集資料を提供したり、必要とされる支援策を試行していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の実情に応じた介護予防・認知症予防の自主活動を推進し、元気づくりステーションやカフェ、つどいの場などの設置、運営支援を行った。大道町会や市営六浦住宅では健康づくり体操教室を開催、コモアは認知症予防体操の自主化、川町内会でも体操教室が立ち上がり、大道町内会と川町内会では来年度から元気づくりステーションへの移行が行え自主運営化を図った。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域ケアプラザの部屋を一部開放し、学童・学生の居場所として学習支援、生活支援の場として活用。子ども食堂やボランティアと協力し見守り支援事業を立ち上げる。頻度や運営レベルは状況を見ながら充実させていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	第4期地域福祉保健計画の策定を目指し、金沢区、地区社協、区社協、関係団体と連携協力し、進める。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・六浦西地区福祉保健計画の重点項目の一つである認知症啓発については町内会やエリアの小中学校の児童生徒に認知症サポーター養成講座を実施することで周知と町ぐるみで認知症の方、家族を支えあう風土を醸成することができた。予防事業も定着してきた。  
 ・さらに、その予防にも通じる住みやすいまちづくりの一環としての居場所づくりの先行例として「むうたんカフェ」を展開して1年、ボランティア育成や地域での集まりへの支援への一歩が築くことができつつある。  
 ・子育て支援として学習支援・居場所として「むうたん塾」を補足させ、不登校・引きこもりなどの社会問題の未然防止に役立っている。  
 ・成年後見、権利擁護事業として啓発講座を積極的に行い、包括支援センターでの相談業務と併せて、高齢化する地域に貢献した。  
 ・生活支援体制整備事業としては、協議体「ささえ愛のつどい」を毎月開催し、ボランティアネットワーク定例会と併せて地域のニーズ把握に努めた。

区からのコメント

地域の重点取組の一つである認知症の啓発を地域と連携して進めています。特に認知症サポーター養成講座については、小中学生に対しても実施することで、学齢期から地域の見守りの一端を担えるよう理解と啓発を進めています。  
 また地域の居場所として「むうたんカフェ」を実施している他、地域に住む教員OB等を巻き込んで実施している「むうたん塾」についても、学習支援や居場所として子育て支援につなげています。  
 今後は、「むうたんカフェ」や「むうたん塾」などで取組を行っている方が、各地域で同様の取組を行っていくために必要な支援も積極的に行っていただくようお願いします。